

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	放射線治療後局所遺残再発食道癌に対する救済内視鏡治療の安全性と有効性についての単施設後ろ向き観察研究(B21-160)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部消化器内科学 主任教授 草野 央
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	本研究の概要は、食道癌に対し放射線治療が行われ、局所に遺残(癌が残存した状態)または再発した症例を対象に、救済内視鏡治療の安全性と有効性について後ろ向きに研究を行うことです。 局所遺残再発病変に対する救済治療には手術があり、手術困難な場合に限り、深達度が粘膜内病変であれば、内視鏡的粘膜切除術や内視鏡的粘膜下層剥離術、アルゴンプラズマ熱凝固療法(APC)の適応となります。また深達度が固有筋層までにとどまる病変であれば、光線力学療法(PDT)が選択されます。 当院における救済内視鏡治療では主に APC、PDT が行われています。APC や PDT の安全性や有効性について詳細に検討した報告はまだ少なく、本研究ではそれを明らかにすることを目的にしています。
調査データ 該当期間	2014 年 1 月 1 日から 2022 年 2 月 28 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に放射線治療後の局所遺残再発食道癌に対して APC や PDT が行われた患者様。
研究の方法 (使用する試料等)	上記期間までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 研究への診療情報の使用に同意されない方は、2025 年 4 月 1 日までに拒否の申し出を下記の担当者にご連絡ください。研究への診療情報の使用を拒否したとしても患者さんへの不利益は一切ございません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下

	記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位: 北里大学医学部消化器内科学 助教 担 当 者: 古江康明(フルエヤスアキ)、 深川菜央美(フカガワナオミ) 電 話: 042-778-8111
備 考	なし